

発達障害の脳科学とコミュニケーション・トレーニング

－ 脳内ネットワークと認知の研究からカスタムメイド治療をめざす －

期 日：2018年 2月24日(土)・25日(日)

受講対象：教諭、養護教諭、保護者、学校関係者、保育、相談に関わる方、および関連の専門家、又は、これらの専門家を目指す方

定 員：80名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：12,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団

会 場：明治安田こころの健康財団 講義室 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

(JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分)

*日本臨床心理士資格認定協会「短期研修機会(ワークショップ)」
承認番号:W29111
承認期間:平成29年7月1日
～平成34年6月30日

昨今では芸能人がカミングアウトしたり、バラエティでも取り上げられて、発達障害という言葉がすっかり社会一般に定着した感があり、さらには2005年に発達障害者支援法、2016年には障害者差別解消法が施行され、法制面からも整備されてきました。しかしながら、言葉として社会に定着する一方で、“発達障害は何か”については専門家間でも“発達障害像”が食い違う現状がある位なので、一般的にはまだまだ誤解が多いのが実情です。

正しい障害像の定着と支援のためには「障害」の本質を症候論から解き明かすことが重要だと考え、ここ数年来最新の脳科学を紹介してまいりました。

今年、脳画像による脳内ネットワークの解析による客観的診断法の研究について紹介いたします。そして、それらの知見を臨床で活用し、カスタムメイド治療を目指していきたいと考えています。

私たちは必要に迫られて、15年前からまず烏山病院で、5年前からは晴和病院でも発達障害外来を開始しました。受診者は増え続け、既に6,000人に上っており、対応しきれない状態が続いています。この外来と同時進行で、成人グループプログラム(コミュニケーション、就労)に取り組んでおりますが、これまでの成果をプログラム参加者の意見と共に紹介し、今後の課題等を皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

【企画講師 加藤 進昌】

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
2月24日(土)	13:00~14:00	成人の発達障害臨床から見えてくるもの ～発達障害と定型の発達は何が違うのか～	昭和大学発達障害医療研究所 所長 公益財団法人神経研究所附属晴和病院 理事長 加藤 進昌
	14:15~15:15	発達障害の脳画像研究～最近の動向～	首都大学東京大学院人文科学研究科 言語科学教室 准教授 橋本 龍一郎
	15:30~16:30	感覚過敏の本質、認知の独特さの基盤	NTTコミュニケーション科学基礎研究所 スポーツ脳科学プロジェクト PM・上席特別研究員 柏野 牧夫
	16:30~17:00	質疑応答	司会:加藤進昌/出席講師
2月25日(日)	9:00~9:30	発達障害の特性を科学する ～カスタムメイド治療をめざして～	(前 掲) 加藤 進昌
	9:45~10:45	人の話がわからない ～コミュニケーション障害の症候学	山形県立こころの医療センター精神科 医長 丹治 和世
	11:00~12:00	なにもたまたしてるの! ～処理速度の症候学	龍谷大学文学部臨床心理学科 教授 武田 俊信
	12:00~13:00	昼 食 (各自おとりください)	
	13:00~15:20 (適宜休憩)	ワークショップ 「大人のASDのための コミュニケーション・トレーニングの実際」 (プログラムに参加して/就労を通して 当事者から)	昭和大学附属烏山病院 精神保健福祉士 五十嵐 美紀 昭和大学附属烏山病院 臨床心理士 横井 英樹 公益財団法人神経研究所附属晴和病院 臨床心理士 田川 杏那 デイケアプログラム 参加者
15:30~16:00	全体討論	司会:加藤進昌/出席講師	

*一部講義のテーマ、講師など変更になる場合がございますので、予めご了承願います。